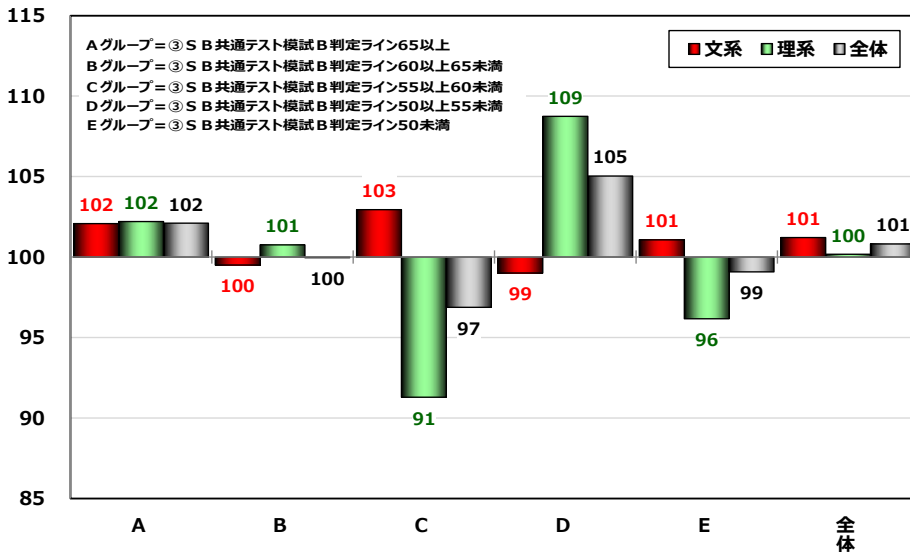


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎模試合格判定ライングループ別志願状況・合格状況

□志願者数は文系、理系ともに A グループは微増



左のグラフは、私立大195大学の一般選抜の志願者数集計において、2023年度第3回駿台・ベネッセ共通テスト模試の合格判定ライン(B判定ライン)を基にして、学部単位(医学科は別集計)で5つのグループ(上位Aグループ~下位Eグループ)に分類し、各グループの志願者数合計の前年度対比指数を示したものです。

文理別の全体では、文系(101)、理系(100)はいずれも前年度並です。

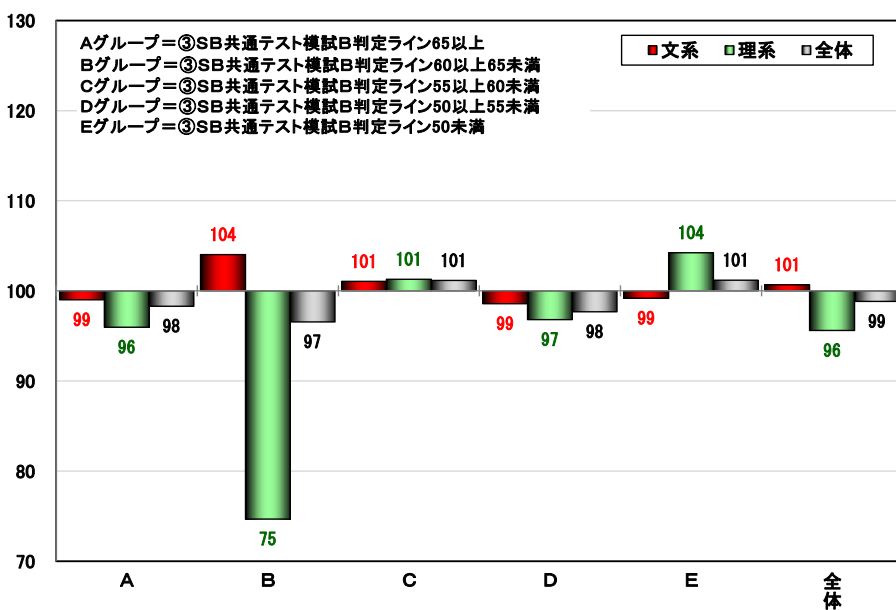
グループ別では、文系ではCグループ(103)はやや増加ですが、Aグループ

(102)、Eグループ(101)、Bグループ(100)、Dグループ(99)はいずれも前年度並です。近年の動向と比較するとA~Eグループいずれも前年度から大きな変化が無いのが特徴です。

一方で、理系ではAグループ(102)、Bグループ(101)は前年度並、Cグループ(91)は減少、Eグループ(96)はやや減少、Dグループ(109)は増加となっています。Cグループは工学院大や日本大の減少が影響し、Dグループは千葉工業大や東洋大の増加が影響しています。

Eグループについては文系、理系とも集計人数が少ないため、今後の集計により変化する可能性もあり、現時点では参考としてください。

□合格者数は文系で前年度並、理系はやや減少



左のグラフは、私立大115大学の一般選抜の志願者数集計において、2023年度第3回駿台・ベネッセ共通テスト模試の合格判定ライン(B判定ライン)を基にして、学部単位(医学科は別集計)で5つのグループ(上位Aグループ~下位Eグループ)に分類し、各グループの合格者数合計の前年度対比指数を示したものです。

文理別の全体では、文系(101)は前年度並、理系(96)はやや減少です。

グループ別では、文系ではBグループ(104)はやや増加ですが、それ以外のAグループ(99)、Cグループ(101)、

Dグループ(99)、Eグループ(99)はいずれも前年度並となっています。「合格者指数-志願者指数」の値を見ると、Bグループ

〔+5〕を除いた4グループはマイナスで、競争は厳しかったものと思われます。

理系ではBグループ(75)は大幅減少、Aグループ(96)、Dグループ(97)はいずれもやや減少です。一方で、Eグループ(104)はやや増加、Cグループ(101)は前年度並です。「合格者指数－志願者指数」の値を見ると、Cグループ〔+10〕、Eグループ〔+8〕は競争緩和ですが、Bグループ〔-26〕、Dグループ〔-12〕は競争激化です。